

# 安全大会

## 350人が無事故 無災害を祈念

### 東海地区コン クリ庄送組合

東海地区コンクリート庄送有限責任事業組合（長谷川員典理事長）は18日、名古屋市内で第10回安全大会を開いた。写真。組合企業の関係者ら350人が参加



し、無事故無災害を祈念した。長谷川理事長は「安全活動に重点的に力を入れ、パトロールや点検を重大テ

マとしてまい進していく」と安全活動への協力を求めた他、働き方改革や建設キヤリアアップシステムに向け「特別委員会を組織し、皆の意見を聞きながら計画を築き上げていきたい」と述べた。さらに「レベルアップを図り自覚を持って安全作業に取り組んでほしい」とビデオメッセージを寄せた。来賓の全国コンクリート庄送事業団体連合会の北口延郎専務理事は「建設機械に占めるポンプ車の割合は低いが、ひとたび事故が起きると重大災害につ

ながる。健康と安全が第一、常に安全に気を配ってほしい」とあいさつした。大会では村井労働安全コンサルタント事務所の村井徹夫氏による安全講話や、2017年度基幹技能者取得者の11人を表彰した。第2部では、全庄連統一安全技術講習会を行い、日本大学理工学部建築学科の中田善久教授が「施工管理者を対象とした技術講習会の実施報告」をテーマに、また同組合安全技術委員長住井次郎氏が講習を行った。